

「やっぱり出てこなあかなあ」これは、『虹の会』が主催する地域の健康教室に参加されたかたの生の声です。

代表の北川文字さん（滝波町3丁目）は、高齢社会の現実を素直に捉え、北川さんが出歩けなくなったとき、みんなが集まれる場所をつくりたいとの想いから、地域でのふれあい活動に力を入れ始め、10数年続けてきています。

会員は15人くらいで、月2回をふれあい活動の開催目標に活動してきましたが、70から80代の高齢のかたの活動としては、無理があるとのこと、18年度からは月1回程度の開催に切り替えること



にしているそうです。

活動内容は、健康教室や児童センターでの交流会、勝山城博物館の庭園の桜の花見も兼ねた平泉寺荘での交流会、手芸や料理などの教室と、年間を通していろいろな活動に取り組んでいます。

健康教室開催後に、茶菓をつまみながら車座になって雑談を交わすひととき、保健婦さんの話に耳を傾けながらの食事会などで心安らぐひとときが、会員をとりこにして放しません。

主な活動の拠点となっている滝波ふれあい会館の隣には児童センターがあるため、わざわざ作りや昔遊びなどを通して、子どもと触れ合うことが多く、子どもから生きるパワーをいただくそうです。

「虹の会」に参加して帰るときの合言葉は、「ありがとう、ありがとう」で十分です。北川さんもこれまで続けてこられた原動力は、このことばにあるとのこと。「これからも、地道に少しずつ継続し、みなさんの協力のもと、この活動の輪を広げていきたい。」と北川さんは語ってくれました。



2月の募集を受けて、面接選考会により新しく3名の産業観光光キヤンペーンスタッフが選ばれました。4月4日に委嘱式が行われ、6日の一日接遇マナー研修では、あいさつやお辞儀、座り方、言葉



たくさんの人に知ってもらいたい

(左から) 長谷川 浪子さん (旭毛屋)
松山 美希さん (元町2)
高畑 みゆきさん (沢町2)

長谷川さんは「勝山の顔に恥じないようがんばりたい。特にスキージャームをPRしたい。」と述べ、松山さんは「勝山のいいところをたくさんの人に伝えたい。この時期なら弁天楼です。」また、高畑さんは「平泉寺をPRしていきたい。」と、それぞれ抱負を述べました。

今後は春のうまいもん祭（4月15日、16日）での活動をはじめ、各種事業や行事の企画、観光案内、PR活動を実施していく予定です。

仲間 GROUP

Fall Back, Spring Forward

勝山市国際交流員

デヴィッド・ティアーニー



「明日は1時間早く出勤しなさい。登校しなさい。なんて言われたらどう思いますか？ たった1時間でも早起きし出勤・登校をする事を想像するだけで、やっぱり辛いですよね。」

アメリカでは4月の第1週の日曜日の午前2時に時刻を1時間早く進めます。アメリカではこの制度をDaylight・セービングまたはサマータイム（夏時間）と言います。夏の間、太陽の出ている時間帯を有効的に利用する目的でアメリカではこの制度を60年以上も実施してきました。明るいうちに仕事をし、夜は早く寝るようになるから、結果的に省エネにつながるとされています。（制度に対しての反対論もたくさんあるけどね……）

時間が変わる当初は睡眠時間が1時間減る事に体が慣れるまで多少時間が掛かりますが、私は基本的にサマータイム制度が好きです。

それは遅くまで外が明るいからです。日が一番長い夏の時期には9時前まで外は明るいんです。学校やアルバイトから午後6時ぐらいに帰ってきたとしても、まだまだ遊べる。公園で友達とバスケットボールをしたり、家の近くの沼で釣りをしたりする時間が1時間延びることはとてもうれしいことでした。

秋には今度、時刻を遅らせることになりました。4月に時刻を早めた分、今度は10月の最終日曜日の午前2時に時刻を1時間遅らせませす。ですから、明日は1時間遅れて出勤していいですよ。登校していいですよ。なんて言われるのと同じことなのです。1時間長く眠ることができるのはとにかくうれしく、一段とリラックスして夜が過ぎます。

ところが、2年前の秋に、私は月曜日の大学の授業に行ったら誰もいなく、教室は空っぽでした。家の時計の時間を変えるのを忘れてしまったのです。いまでも、あの寝そびれた1時間が悔やまれてしょうがないです。

くらしの意識調査「豪雪地区の消費生活について」 Web

昨年12月からの豪雪が、家計にどのような影響をおよぼしたのか、調査結果がまとまりました。市内295人にアンケートを行った結果、40%の人が支出が増えたと答え、特に光熱・水道費については95%の人が上がったと答えました。

雪害で最も大きな被害を受けたのが光熱・水道費で、暖房器具の利用や融雪設備での利用増、灯油の値上がりなどが原因のようです。

続いて交通・通信費で、ガソリン代や事故による修理代、公共交通機関の利用などが主な要因となっています。

その他、野菜の値上がりや除雪作業用具の購入、住宅補修、断水による外食の増加などにより支出が増えたようです。

早めの雪囲いや除雪道具の点検、野菜の収穫をする、貯蓄をしておくなど、計画的な家計管理ができるよう、冬季の準備は早めに行きましょう。

調査結果の詳細は市ホームページに掲載しています。

生活環境課 (☎内線264)

